

10月からインフルエンザワクチンの接種が始まります！

昨シーズンはB型インフルエンザが爆発的に流行し、統計を取り始めた1999年以降では患者数が最高を記録したそうです。今シーズンは9月に早々と松山市でインフルエンザによる学級閉鎖の報告がありました。流行の立ち上がりが例年より早くなる可能性がありますので、早めのワクチン接種を心がけてください。

インフルエンザワクチン

ワクチンにはA型2株、B型2株の4種類の株が含まれています。

※接種回数は年齢で異なります。

6ヵ月～13歳未満：2回（2～4週間間隔）

13歳以上：原則1回

※予防効果は接種後2週間から5ヵ月程度持続します。



Q:子どもにインフルエンザワクチンを接種した方がいいのですか？



A:やはり接種するべきと考えます。発症予防効果はさほど高くありませんが（20～50%）、重症化や2次感染を予防する効果があることはわかっています。また未熟児や病気などで抵抗力が弱い人たちをインフルエンザから守るためにも接種する意義があります。

みんな元気に
なあれ～

紙吹雪だ！パラパラ～



かっこいい電車走れ走れ！
ゴ～ !!



トンボを作るよ！



ん～ これは
どこに入るのかな？



9月のご利用状況

9月の利用延べ人数は72名、一日平均利用人数は4.0人でした。

年齢別では、1歳児が32名(44%)で最も多く、2歳児13名(18%)、0歳児9名(13%)の順でした。

利用実人数30名のうち22名(73%)がRSウイルス感染症でした。

今回病児保育室でたくさんのRSウイルス感染症のお子さんをお預かりしましたが、外来通院のお子さんよりも病状回復が速やかな印象がありました。病児保育室では1人の保育士が1人もしくは2人のお子さんをつきっきりでお世話をし、咳や鼻水がひどいと看護師が鼻水の吸引処置を行うといったいわゆる保育看護を実践したことによるものと思われました。